

**緑道も公園のひとつのカタチです！
蛇松線廃線後、緑道となって今なお愛される
蛇松緑道(白銀町～蛇松町間)**

本号の表紙写真にもなっている蛇松緑道は、明治20年に敷設された静岡県内最古の鉄道「蛇松線」跡を整備した緑道です。蛇松線は狩野川河畔の蛇のように曲がりくねった「蛇松」があったことに由来する地から沼津停車場まで、東海道鉄道の建設資材を輸送するために敷設されました。明治22年の東海道開通後は貨物輸送に使用され、戦後、沼津港の開港とともに軌道が敷き直されて「沼津港線」と改称。魚介類などの水産物を運ぶようになりましたが、トラック輸送が盛んになったことで昭和49年に廃線となりました。

廃線が決定された際、蛇松線の歴史を長く後世に伝えていくこと、「市民の皆さんができる緑道」として整備することが提案され、軌道や車輪、信号機などの遺構を残しつつ、緑豊かなプロムナードとなって今も市民の憩いの場、また散策路として親しまれています。

複合遊具や健康遊具が設置されて子どもも大人も楽しめる

片浜北公園(西間門9-2)

公園を中心に半径1km以内に住んでいる人が主に利用することを想定した公園(地区公園)です。街区公園や近隣公園にはない20台収容の駐車場が完備されています(9時～18時)。子どもが遊ぶ遊具の他に、大人も楽しめる健康遊具が設置され、幅広い年齢層に人気の公園です。また、マンホールトレイや地下貯水槽等、災害時に役立つ機能も備わっています。



**市民や民間の皆さんの「公園にあったら良いな」と思う
アイデアを活かして「公園で大実験！」
～パークマネジメント実証実験～**

多様な利活用を促進し、より魅力ある公園にしていくために、市ではパークマネジメント実証実験を行っています。これまで市民協働の手法や民間のノウハウを取り入れ、移動販売店による飲食販売やオープンカフェ、ハンドメイド市を実施してきました。今後もこれら実証実験の分析・結果を基に、公共空間としてより価値の高い公園づくりを目指していきます。

これまで実施してきた実証実験の事例をご紹介

**公園をもっと居心地の良い空間に
中央公園に移動販売店が登場**



中央公園に1月から平日7時～10時限定で移動販売店が登場!! 通勤途中のサラリーマンや早朝ジョギングを楽しむランナーが公園に立ち寄り、一息ついたら、移動珈琲屋「パチパチ」(下香貫下障子)がオープンカフェを開設し淹れてコーヒーを、いちご農家「アベリードリファーム」(伊豆の国市韭山)がいちご製品の販売を行っています。

今後も新たな公園のにぎわいづくりについて、ご意見ご提案等ありましたらお寄せください。

**公園を子育て世代の交流空間に
門池公園でハンドメイド市を開催**



県東部のママグループ「maman marche」が3月15日に門池公園でハンドメイド市を開催しました。ミシンや編み物、裁縫が得意な子育て中のママたちが洋服や小物を作り販売。フェイスブックでの開催PRも話題となって、多くの親子連れが訪れた他、公園で散歩を楽しんでいた人たちも立ち寄り、多くの人にぎわいました。

QRコードから
どうぞ。

遊び。憩う。安らぐ。公園の役割は昔も今も変わりません。しかしながら、市民ニーズが多様化する中で、公園の質を向上させるための柔軟な対応が求められています。

ただ遊びだけでなく、家族や友だちと楽しく過ごすひとときが生まれるように。安らぎに加えて、スポーツ・レクリエーションの場として青空の下で健康づくりに取り組めるように。そして、もっと多くの皆さんに市内に点在する公園を知ってもらい、「あの公園に行きたいな」と思ってもらえるように。

今回の特集では、市内に148カ所ある都市公園の中からそれぞれ特色のある公園について、そして、公園利用の新たな可能性を探る「パークマネジメント実証実験」の事例も交えて紹介します。

問 緑地公園課 ☎ 055-934-4795

特集

一知らないなんてもったいない！－

沼津の公園を楽しもう！

公園内に松林が広がり、自然と調和した景観をもつ
我入道公園(我入道秋葉町441)

**徒歩圏内に公園が点在！岡宮地区的皆さんの触れ合いと憩いの場
岡宮1～4号公園(岡宮地区)**

公園を中心とした半径250m以内に住んでいる人が主に利用することを想定した公園(地区公園)です。現在、岡宮地区では、土地区画整理事業を行っており、新たな住宅の創出や快適な居住環境、利便性の高い交通体系等の整備を行い、安全安心なまちづくりを進めています。

この地区には1号から4号まで公園が完成しており、地元の皆さんに親しまれています。どの公園も見通しが良く、遊具・広場エリアと芝生エリアを設置していることで、幅広い年齢層の皆さんが高い目的に応じて利用しています。



**自然の息吹を感じることのできる
人気の高い公園**

宮原公園(玉江町1455-1)

公園を中心とした半径500m以内に住んでいる人が主に利用することを想定した公園(近隣公園)です。通称「せせらぎ公園」と呼ばれるこの公園は、人工的に滅菌された親水空間があり、暑い夏には水遊びを楽しむ子どもたちの歓声でぎやかになります。また、開放感が味わえる緑豊かな広場には園路が整備されており、多くの地元の人たちがウォーキングや散策を楽しんでいます。せせらぎ水の音、鳥がさえずる声、そして子どもたちが伸び伸び遊ぶ姿にほっこりできる人気の高い公園です。



**住宅地の中に広いスペースを有しているからこそ
あらゆる用途に有効活用**

町中公園(原町中2丁目9)

宮原公園と同様、近隣公園として利用されている公園です。原地区の住宅地の中にあり、1万m²もの広い面積を有しているため、子どもたちがサッカーや野球などのボール遊びを楽しんだり、地元のお祭りやどんど焼きなどを開催したりしています。

また、調整池として浸水対策に役立っているほか、避難地として防災拠点の役割も担うなど、地元の皆さんにとって欠かせない「開かれた空間」として利用されています。

